

真相究明ネットニュース合本（2冊）発行

真相究明ネット共同代表・飛田雄一

今号の真相究明ネットニュースが26号。第1号は、2006年2月12日発行です。合本があれば便利だという多くの？声を受けて、発行することにしました。



第1分冊 1号（2006年2月12日）～10号（2018年2月2日）

第2分冊 11号（2018年5月26日）～20号（2022年6月2日）

そのうち？第3分冊も発行されることになるでしょう。

真相究明ネットが事務所をおく神戸学生青年センターには最新式の印刷機・リソグラフがあります。最新式といっても基本的にはガリ版刷りの延長線上の機械です。むかし「プリントゴッコ」というのがありました。覚えていますか？ 年賀状を家庭で簡単につくれると宣伝されました。その後進化して、小学校などでの普及率は相当なものだと思います。

そのメーカーは、リソグラフの最近機種が発売されるごとに宣伝にきました。デモ機を使い、月額同額のリース料にしておくからという宣伝文句に応じて、更新更新を続けてきました。

今の機種、いちばんすぐれているのは製本・ホッチキスです。印刷原本を機会にセットすれば自動で製本してくれます。むかしがんばっていた1頁と28頁、2頁と27頁とセットしてセロテープを貼り印刷。帳合（この言葉も古い）して中綴じのホッチキス。こういう工程が不要です。原本をセットして、スイッチをONにするといいのです。60頁までなら製本・ホッチキスが完了します。機会がデータを記憶していますので、完全オンデマンド印刷。注文・要望があれば追加印刷します。

真相究明ネットニュースは、中田事務局長が編集した原稿を学生センターに持参し（ネットでもいい）、簡単に印刷できます。今号のニュースもおそらく問題なく完成することでしょう。

今回の合本、けっこう分厚くなりました。第1分冊175頁、第2分冊195頁です。60頁を越えるのでホッチキスはしてくれませんが、製本・折りはしてくれます。あとはホッチキスだけです。とりあえず50冊ほどつくって関係者に贈呈し、Amazonにも送りました。そのご、ちよくちよくアマゾンから注文がきて、送っています。

この出版、貴重な市民運動の歴史をニュース合本として出すことはコスト的にも、すぐれています。最近調子によって、『武庫川と朝鮮人』1巻&2巻、『神戸港における戦時下朝鮮人・中国人強制連行を調査する会』全1巻をだしました。余勢をかつて『青丘文庫研究会月報』全4巻？の発行も画策しています。詳細は、神戸学生青年センターのホームページをごらんください。

出版元はすべて神戸学生青年センター。Amazonにも登録しているので都合がいいのです。

センターに直接注文のときは250円を送料としていただくことになっています。それなりの手間がかかるのでご承知ください。なので、できるだけ送料のかからない、代金の直接決済の必要がないAmazon経由をお勧めしています。Amazonに反対の人には申し訳ありません。

そこで今回、真相究明ネットに直接注文の人には、送料真相究明ネット負担で販売することにした。郵便振替<00930-9-297182 真相究明ネット>に前金で、1冊1100円、2冊なら2200円を送金ください。真相究明ネットからお送りします。送金時、郵便振替用紙に注文明細を必ずかいてください。

私は20年がたった真相究明ネットの歴史を本にまとめることも考えてはみました。そのとき、ニュースを参考に書くことになります。いろいろ考えるとニュースをそのまま合本として発行することが、いちばんいいという結論に達しました。みなさん、ご注文をよろしくお願いします。